



# 議会

# だより

68号

令和4年  
11月17日発行

「設楽町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」可決  
議員定数 12名から10名へ 令和5年4月執行予定の一般選挙から



設楽町議会

## もくじ

- 令和3年度決算 ..... 2
- 定例会・委員会報告 ..... 5
- 議員8名の一般質問 ..... 10
- 設楽ダム対策特別委員会の現地視察 14

発行／設楽町議会 編集／広報委員会  
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地  
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675  
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp

# 令和3年度 決算認定

会計区分		歳出額	前年度比(%)	認定の状況
一般会計		57億9,753万円	△22.2	賛成9 反対1
特別会計	国民健康保険	5億5,865万円	8.0	賛成9 反対1
	後期高齢者医療保険	2億 919万円	△1.8	全員賛成
	簡易水道	6億8,323万円	△20.1	全員賛成
	公共下水道	2億 898万円	△46.4	全員賛成
	農業集落排水	2億2,225万円	1.7	全員賛成
	町営バス	5,363万円	46.0	全員賛成
	つぐ診療所	9,127万円	△5.8	全員賛成
	田口財産区	560万円	2,233.3	全員賛成
	段嶺財産区	17万円	41.7	全員賛成
	名倉財産区	26万円	△25.7	全員賛成
	津具財産区	1,568万円	550.6	全員賛成

## 反対 田中邦利議員

1. マイナンバーカードの普及は低迷している。カード取得に住民はなお慎重である。強制するな。
2. 費用対効果に疑問の郷土館の管理運営費は2千2百万円余。毎年続くと見られる。入場者は、一番盛況となる開館初年度においても1万人未満。
3. ダム湖周辺整備事業は、町への誘客を狙うものだが、ダム湖畔周辺と3つの公園などの整備程度では観光振興に結びつかない。地域の力を生かす「域内経済循環」をめざせ。
4. 移住定住対策の年度実績は1世帯1人のみ。毎年10世帯の移住は破綻している。
5. 暮らし、福祉の問題では、配食サービスの回数増などがあったものの、全体的には副次的だ。  
①男女共同参画事業ではいっこうに成果が上がらない。  
②林道事業は大幅に減額となり、道路維持費も前年度より減った。  
③教員多忙化解消は、半数の教員が45時間以上の時間外勤務をおこなっており、進んでいない。  
④給食無料化問題では、町は無料化拒否の姿勢。
6. 基金積立金は3億7千万円となり、予算時1千万円余から大幅に増加した。財調、減債基金の規模は34億円にも。「ため込み」には反対。
7. 投票所、掲示板の挑戦的な削減は拙速すぎた。見直すべきだ。  
以上のことから、令和3年度の歳入・歳出決算の認定については不可である。



## 賛成 原田直幸議員

令和3年度の一般会計の歳出は、57億9千万円と前年度に比べ16億5千万円の大幅な減となった。これは、道の駅したらや奥三河郷土館、八橋斎苑などの大型公共事業が令和2年度中に完成したことによるものである。道の駅したらや奥三河郷土館は順調に運営されているが、今後においても、イベント等の企画に知恵を絞り、近隣施設と共存共栄を図っていくとともに、維持管理費の節減に努めるよう要望する。

設楽ダム建設事業では、完成が令和8年度から16年度に8年間伸びることが報告された。町がダム本体の完成に合わせて計画してきた小水力発電事業やダム湖周辺整備事業などは変更を余儀なくされるが、時代に即した事業計画が行われるよう希望する。また、その他の事業については、ダム完成の遅れに引きずられることなく、早期の完了を要望する。

新型コロナウイルス感染症対策は、令和3年度中に3回目の予防接種が実施されたこと、町内の内需拡大のためのプレミアム付商品券の発行など、確実な対応ができた。

配食サービスは週5回に拡充され、2年度の倍以上の1万4千食の配食が実施された。防災アプリの活用により、どこにいても町の行政情報が確認できるなど、町民生活に沿った支出がされたものと理解する。

歳入は大型事業の完成に伴い、町債の発行が抑制され、水源基金から予定されていた施設維持管理事業の繰り入れも当初の1億5千万円から1千6百万円と、後年への負担を極力抑えられる措置が取られている。

こうしたことから、令和3年度の歳入・歳出決算の認定については賛成するものである。

## 決算の質疑

あれこれ

決算特別委員会に付託された令和3年度一般会計・11特別会計決算の質疑を行いました。

9月8日 総務建設委員会所管分の質疑	一般会計	83件
	4 特別会計	0件
9月12日 文教厚生委員会所管分の質疑	一般会計	71件
	7 特別会計	3件

主な質疑の内容をお知らせします。

### 小水力発電技術人材育成研修について

- Q ダムの完成が8年伸びたことにより、小水力発電の人材育成研修はどのようになっていくのか。
- A 研修は、小水力発電事業を運営するためのものだけではなく、ダム本体の構造的な研修も行うので、完成時より少し前から人材育成を行っていききたい。

### 田口高校の研究成果の活用について

- Q 田口高校で行っている杉の葉材で作っている精油製品の販売について、どのような状況になっているのか。
- A パッケージ等の作成も終わり、今年度、東三河森林活用協議会で石鹸を製造していくことになっている。

### しあわせまちづくり交付金事業について

- Q しあわせまちづくり交付金事業で、入学祝い金が68人に240万円交付されているが、内訳はどうなっているのか。田口高校へ行っている人数は何人か。
- A 小学生15名、中学生31名、高校生22名で、そのうち田口高校が12名となっている。

### 役場職員のストレスチェックについて

- Q ストレスチェックによる面接指導を申し出た職員はいなかったと説明を受けたが、3年度末には精神的な疾患で早期退職した職員がいる。具体的な対応策を考えているのか。
- A 事務量の多さからくる多忙化がプレッシャーに繋がっているので、外部委託や職員数の増などを図り、多忙化の解消を図っていききたい。

### 選挙のポスター掲示板の数について

- Q ポスター掲示板の数が、119か所から34か所になったことが、投票率の下落に繋がっていないか。掲示板の数を増やすことはできないのか。
- A 公職選挙法で、投票区の面積と投票所の有権者の人数により、いくつまでと決められており、減らすことはできるが増やすことはできない。

### マイナンバーカードの普及について

- Q 現在の普及率はどうなっているのか。設楽町は普及率が低いと聞かすが、対応策は考えているのか。
- A 現在のところ、1,577名、率にして34.5%になっていて、土曜日の開庁を行っているが全国的にみても低い方なので、今後も引き続きPRに努めていきたい。

### 数え100歳の敬老祝い品について

- Q 今まで、1万8千円の祝い品を送っていたものが、5千円の商品券になったと聞かすがどうしてか。
- A 一部の方から金額は下がっても良いので、町内で使える商品券にしてほしいとの要望があったことから変更した。

### 福祉タクシーの運行について

- Q 利用回数や利用額が減っている現状で、制度の見直しが必要だと思うがどうか。
- A 現在、愛知県と一緒に高齢者輸送の実証実験を行っており、料金体系の見直しも踏まえて、今後検討していく。

### 訪問看護ステーション運営事業について

- Q** 民間事業者の参画もある中、明峰福祉会へ運営負担金を支出している理由は何か。
- A** 民間の事業者はリハビリを中心に行っており、看護という部分では明峰福祉会に頼っている現状である。東栄医療センターも訪問看護は実施しない方針なので、北設3町村で新たな方向を検討している最中である。

### 子宮頸がんワクチン接種事業について

- Q** 子宮頸がんワクチン接種事業はどのような状況か。
- A** 令和3年度までは、積極的勧奨を控えていた。町として対象者に通知を出していたが接種者は少ない状況であった。4年度は接種機会を逃した方に対して新しく案内をしていて、接種が進んでいる状況である。

### 清崎・津具斎苑の取り壊し事業について

- Q** 2つの斎苑の取り壊しに対する設計費用が767万円と高額だと思うが、理由は何か。
- A** 解体にあたって、環境基準をクリアするために、アスベストや火葬炉のダイオキシン類、重金属類の調査を行った。

### 合併処理浄化槽補助金について

- Q** 合併処理浄化槽の更新に対する補助はどうなっているのか。
- A** 概ね、設置から30年経過し老朽化した合併処理浄化槽の更新についても補助金を交付するようにしている。

### 中山間地直接支払交付金について

- Q** 実施面積が減っている理由は何か。面積が減っているのに交付金が増えているのはどうしてか。
- A** 面積については、鉄塔工事が行われたための減で、交付金が増えているのは、作業省力化を図るために無人ヘリコプターによる農薬散布等を行ったことによる単価加算が適用されたことによるもの。

### 防災アプリの導入状況について

- Q** 防災アプリを導入して、どこにいても町の行政情報が入ってくるようになり便利になったが、普及率はどの程度か。
- A** 防災アプリは、8月末現在で380名、普及率は8.6%になる。また、ラインについては、74名の方が導入している状況である。

### 教職員の多忙化解消について

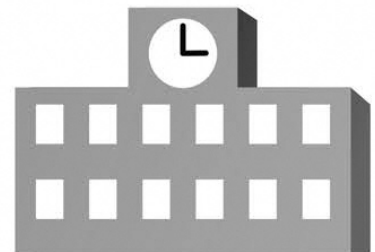
- Q** 教職員の残業時間を月45時間以内にするのが教育委員会の仕事のひとつだと思うが、どのような対応をとっているのか。
- A** 校長会の中で、いろんな検討を行っている。中学生の部活動に対して、地域の方の協力を得て、教職員の負担軽減を図っていくことも検討していきたい。

### 学校給食の無料化について

- Q** 令和4年度は、コロナ対策の一環として、学校給食の無料化を行っているが、令和5年度以降もコロナ対策ではなく、子育て支援の立場から無料化を行う考えはないか。
- A** 給食費は、保護者の方に負担していただく考えは変わらないが、全国的な流れや文部科学省の考え方も把握しながら、今後も検討していく。

### 中学生人材育成研修事業について

- Q** コロナの影響で中学生海外派遣事業は中止されていて、その代わりに人材育成研修事業が行われているが、行先等はどのように決めているのか。
- A** 生徒の要望、考え方、意見を聞きながら行先等を決め、研修内容を検討している。



## 田口高校の運営について

Q 県からの意向で、田口高校学校運営協議会と新城設楽地区県立高等学校あり方協議会と2つの協議会が立ち上がっているが、内容の差は何になるのか。

A 田口高校学校運営協議会は、田口高校をどういう風に運営していくか協議する場で、高等学校あり方協議会は、田口、新城有教館、作手校舎の魅力化や地元の生徒の確保を協議する場になっている。

## 豊川水源基金からの基金繰入について

Q 施設維持管理事業として、当初予算では1億5千万円を計上していたが、決算では1千6百万円になっているが、どのような管理に使用したのか。

A 奥三河郷土館や清嶺保育園、田口浄化センターの維持管理と農業集落排水の集中管理システム、自家発電等に使用した。

## 監査委員からの意見(抜粋)

設楽ダム completion が延伸されたことから、引き続きダム建設に関わる事業が今後も展開されることが予想される。それらの事業に加え、第2次総合計画やダム湖周辺整備等、町民の意見を踏まえた町のビジョンを示し、議会で十分な検討を重ねることで、一人一人が将来を見通せる町づくりを目指していただきたい。

## 第3回 臨時議 会(7月)

7月15日に開催し、2件の議案の審議・採決を行いました。

件名	結果	備考
契約締結・工事請負契約の締結について	可決	全員賛成
補正予算・令和4年度設楽町一般会計補正予算(第2号)	可決	全員賛成

## 主な質疑

### 長江地区の水道管を更新します(契約締結)

Q 長江地区水道管更新の他、水管橋の架け替えが含まれているが、地震等の災害に対する備えはしてあるのか。

A 水管橋は耐震性に優れたものに取り替える予定。安心していただきたい。

### 調理場の調理員を臨時的に給食会社から派遣してもらいます(補正予算)

Q 津具共同調理場は地元住民で確保できたと聞いているが。

A そのとおりである。既に働いてもらっている。

Q 派遣委託の2名はどここの調理場へ配属予定か。

A 田口共同調理場へ配属予定であるが、町内各調理場への応援体制も含め、有効活用していきたい。

**第4回  
全員協  
議会(7月)**

7月15日に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。

- ・令和4年度設楽町国民健康保険料率について

**第5回  
全員協  
議会(8月)**

8月17日に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。

- ・設楽町教育振興基本計画の策定について

**第3回  
定例会  
(9月)**

9月1日から9月22日までの22日間の会期で開催しました。1日は議案の上程、説明及び各委員会への付託を行い、5日は8名の議員による一般質問を行いました。8日に決算特別委員会（総務建設委員会所管分）及び総務建設委員会、12日に決算特別委員会（文教厚生委員会所管分）及び文教厚生委員会、14日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日の22日は各委員会に付託された議案の審議の結果報告、採決を行い、さらに追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果	備考
発議		
・設楽町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	可決	賛成多数 賛成9：反対1
・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	採択	全員賛成
選挙		
・北設広域事務組合議会議員の選任について	選任	
報告		
・令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率について	了承	
・所掌事務の調査報告(設楽ダム対策特別委員長報告)	了承	
同意		
・設楽町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	
協議		
・公の施設の区域外設置に関する協議について	可決	全員賛成
条例制定		
・設楽町学校規模適正化推進委員会設置条例について	可決	全員賛成
条例改正		
・設楽町町営バス条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
・設楽町町営バス使用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
・設楽町立学校設置条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
・設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	全員賛成
計画変更		
・設楽町過疎地域持続的発展計画の変更について	可決	賛成多数 賛成9：反対1

件名	結果	備考
補正予算		
▪ 令和4年度設楽町一般会計補正予算(第3号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町一般会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町町営バス特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町つぐ診療所特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町つぐ診療所特別会計補正予算(第2号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町田口財産区特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町津具財産区特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町公共下水道特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
▪ 令和4年度設楽町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成
陳情		
▪ 私立高校の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために設楽町独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択	賛成多数 賛成8：反対2
▪ 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	賛成多数 賛成8：反対2
▪ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	採択	全員賛成
決算認定		
▪ 令和3年度設楽町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数 賛成9：反対1
▪ 令和3年度設楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数 賛成9：反対1
▪ 令和3年度設楽町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町町営バス特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町つぐ診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町田口財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
▪ 令和3年度設楽町段嶺財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成

件名	結果	備考
決算認定・令和3年度設楽町名倉財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成
・令和3年度設楽町津具財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員賛成

### 議会の議員定数が12名から10名に減ります(発議)

**反対討論** 住民代表・情報開示・審議・意思決定・行政に対する監視等議会の果たすべき機能を発揮するには、現状の定数を削減することはおよそ考えられないし、望ましくもない。今、地方政治は複雑多様化しており、単に削減に走ることなく、議会の役割を十分に発揮して信頼に値する議会を作ることこそ重要だと考える。

**賛成討論** この発議は、全国の自治体の現状、近隣、県内町村と比較をし、設楽町独自の地域性を含め、行政問題等に対応可能な議員定数はどの程度なのか全議員で検討を重ねた結果である。過去2回続けて議員選挙が無投票になったこと、毎年100人以上人口が減少し続けていること等を考えれば議員定数の削減はやむを得ない。

### 主な質疑

#### 町営バスに「東栄診療所」バス停が設置されます(条例改正)

**Q** 運行距離が200メートル延びるが、時刻表の変更はあるのか、あれば利用者への周知はどのようにするのか。

**A** 数分程度の変更になる。具体的な周知方法はまだ決めていない。

#### 町内の小学校の適正な規模と配置を話し合う場が設けられます(条例制定)

**Q** 委員は公募で募集するのか。

**A** まだ決めていない。直ちに委員会を設置するのではなく、今後、学校統廃合の気運が高まってきた段階で設置していく。

関する事項について」とあるが、統合に向かっていくということか。

**Q** 第2条に「小学校の学校規模適正化の推進に

**A** 地域おこし等によって、子どもの数が増えるという場合もあり得るので、統合を進めていくという意味ではない。

### 総務建設委員会

9月8日開催／付託事件4件(議案4件)を審議しました。付託された議案は全て「原案のとおり可決すべき」と決しました。

#### 令和4年度設楽町一般会計補正予算(第3号)【総務建設委員会所管分】

**Q** プレミアム付商品券(1冊6,000円分の商品券を5,000円で購入可)の1万冊の追加販売にあたり、販売開始日と利用期間、購入できる人の条件と上限購入金額はどのようになっているか。

**A** 新たに増刷されたプレミアム付商品券は10月1日販売開始、令和5年1月31日までが利用

期間である。今回のプレミアム付商品券は町内外を問わず、どなたでも購入できる。上限額は前回購入されたプレミアム付商品券との合計で1人20冊、10万円まで購入できる。なお、従来の販売所に加えて、設楽町内の「道の駅」でもプレミアム付商品券を販売する予定。



**Q** 輸入粗飼料の高騰が畜産農家の経営を直撃している現状に対して、愛知東農業協同組合の組合長が8月4日、設楽町に補助の要請をされたが、町の支援についての考えを問う。

**A** コロナ関連の補助金はすべて使い道が決まってしまったので、9月補正に計上できなかった。今後の方針としては、新たなコロナ補助金の追加や、原油高、物価高等に対する地方創生臨時交付金が国の補正予算で交付されるのであれば、その中で町全体、農林水産業全体を考慮しつつ粗飼料に充てられるかどうかを検討したい。

**Q** 道路維持費の内、工事請負費の予算は、当初予算が前年度より半額の4,500万円の計上と

なっている。今回の補正予算で3,000万円の補正を行うこととなっているが、この計上の仕方になった理由は何か。

**A** 当初予算の段階からしっかりと積算を行った上で予算要求をし、今回のような大幅な補正をする事がないように注意を払っていきたい。

**Q** 田峯城遊歩道等整備改修工事に8,000万円近い予算が計上されているが、整備の具体的な内容は何か。

**A** 遊歩道の改修に併せて、田峯城の周囲の馬防柵の劣化と入口の橋の腐食が進んでいることから、森林環境譲与税を充当して改修を行う。

## 文教厚生委員会

9月12日(月)開催 / 付託議案6件、陳情3件を審議しました。  
付託された議案はすべて「原案のとおり可決すべき」と決しました。陳情3件中2件は「趣旨採択すべき」1件は「採択すべき」と決しました。

### 設楽町学校規模適正化推進委員会設置条例について

**Q** 条例の公布日は決定しているのか。

**A** 未定であるが速やかに公布したい。

**Q** 委員を10名以内で選出することになっているが、いつ選出するのか、また委員になるため

の条件等はあるのか。

**A** 直ちに委員会を設置するものではない、必要に応じて設置するものであり選出条件も未定である。

### 私立高校生の父母の負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために設楽町独自の授業料補助制度の拡充を求める陳情書

**趣旨採択意見** 北設3町村で始めたものであり、変更には3町村での協議が必要であろう点から趣旨採択とすべき。

**採択意見** 補助制度をさらに拡充し公私格差を埋める努力を行政に促すためにも採択すべき。

### 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

**趣旨採択意見** 国、県において入学金の無償化に向けた議論も行われていることから、趣旨採択とすべき。

### 定数改善計画の早期策定、実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

**採択意見** 少人数教育の良さを都市部の学校にも広めるべきである、また義務教育費の国庫負担率は先進国の中でも低く、国庫負担は拡大していくべきであり、採択すべき。

## 可燃ゴミの収集回数の見直しについて

**質問** 月1回の収集地区もあれば週2回の収集地区もある。収集回数の増加などの見直しは如何か。

**生活課長補佐** ゴミの収集は北設広域事務組合の所管であり、収集回数  
の見直しは根羽村を含めた北設楽郡内全域の見直しが必要で時間を要  
するが、プラスチック類の資源化に伴ったゴミの種類ごとの量の変化  
に注視しつつ収集体制の最適化を図っていく。

## 段戸国有林内風力発電事業計画について

**質問** 段戸鷹ノ巣山に建設予定の風力発電計画に沖駒区全員一致で反対  
を表明されたが、この意思をどのように受け止めるのか。

**企画ダム対策課長** 署名された約50名の数からしても沖駒区の総意と  
考えており、大変重く受け止めている。

**質問** 沖駒区の総意を愛知県知事にお伝えいただけるか。

**町長** 非公式ながら、大村知事に沖駒区の総意を伝えた。それについて大村知事からは「住民の  
皆さんの反対がある以上、事業として難しいのではないか」とのことであった。町には「設楽  
町省エネルギー及び再生可能エネルギー基本条例」があるが、住民の生活、安全・安心を守る  
立場に基づき、一番大事なのは住民の皆さんの思いなので、町としてこれを推進していくとい  
うことはない。



原田 純子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

## 投票区の変更に伴う投票率低下について

**質問** 本町は昨年、投票所を23か所から4か所とした。この間の3回  
の選挙で町民の投票行動に大きな変化があった。昨年の新町長選  
挙では、9.1%下落。また同年10月の衆議院選挙では、全県で投票率  
を上げる中、県下で最低の4.7%下落、本年7月の参議院選挙でも、  
県下で唯一設楽町のみが減少し、最低の4.3%下落。当局はこの結果  
をどう分析したのか。

**総務課長(選挙管理委員会書記長)** 3回連続で投票率が下がったのは残  
念。しかし、投票区再編が原因であるとは言いきれない。今後、投票  
行動をさらに促すよう努力する。

**質問** 誰のために、何のために必要な変更だったのか。

**総務課長** 小さな区では、投票立会人の選任が困難。役場職員も、もし災害等対応が必要な時に、  
選挙が重なると対応できないため。

**質問** 選挙制度変更に対する住民調査等は適切になされたのか。

**総務課長** 区長アンケートでは、「やむを得ない」という回答が多く、適切なものだった。

**質問** 前述の参議院選挙で、全県並みに投票率4%増とするには、町民の約8%以上の  
投票行動が必要。前回と比べて町民の300人以上が投票できなかったと推計される。  
来年の統一地方選挙に向けて、設楽町の選挙制度について、早急に見直していくべき  
と考えるがどうか。

**総務課長** 町民からそうした声は出ておらず、現行制度の変更は考えない。



加藤 弘文 議員



QRで  
動画で  
見よう!

## 未来にも活きる設楽ダム周辺の整備計画について

**質問** 今設楽町は香嵐溪や茶臼山と肩を並べる規模の観光整備計画ができるチャンスだと思うが、今後どの程度の規模でどれだけの来場者を目指しどのような姿をイメージしているのか。また、ダム湖周辺の植栽整備は、どのように進んでいくのか。

**企画ダム対策課長** 現在整備内容、規模等について検討中。今後一体的な整備で設楽ダム利用者の獲得を目指し、通年で1日設楽町に滞在できるようにと思っている。1スポット1シーズン10万人規模で整備ができるかも踏まえて検討する。

ダム湖周辺の植栽整備は、ダム完成時期を踏まえ場所、時期、本数等を作成し、地域住民、下流市の方々と一緒になって育て令和16年の完成時には見ごろになるように散策路や3公園周辺を検討していく。

**質問** 観光協会の新しい体制や取組、方向性はあるか。

**産業課長** 去年5月から道の駅したらへ事務局を移転し、町に訪れる人と接する機会が増えた。現時点では、周りの状況を見ながらあるべき姿を考えていく途中だとしてご理解いただきたい。

**町長** 設楽町には素晴らしい名所、伝統芸能が沢山ある。それをつないでいくことに主眼を置いてやっていきたいと思う。

**意見** ぜひ県内でも有数の名所になるように計画を進めていただきたいと思う。



村松 純次 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!



七原 剛 議員



QRで動画で見よう!

## 町民協働の町づくりについて

**質問** 観光客が増える中で、地域を守るべきマナーやルールを示していくべきでは。

**産業課長** 観光公害に対して未然に防止しつつ観光資源を維持していくことが重要である。来訪者、地域住民が気持ちよく過ごせる町になるよう努力していく。

**質問** 奥三河郷土館を今以上に積極的に町おこしに活用してはどうか。

**教育課長** 現在、館長や学芸員、保護審議会員らと様々な提案・アイデアを話し合っている。今後、様々な企画を具体化していく。

**質問** 企画展を定期的、継続的に開催していくのか。

**教育課長** 開催していく。また、郷土館を町内各所へ行く窓口として活用していく。

## 設楽町とJ-クレジット制度の関わり方について

**質問** J-クレジット制度の有効性について、町はどのように考えているのか。また、今後、この制度に参画する予定はあるのか。

**産業課長** この制度により企業が森林活動をPR活動など用いたり、更なる森林保全への取組に対する支援の意識が高まっていくと考えられる。この制度の町の林業や産業に対する有効性について今後、調査研究していく。

**町長** 私たちの地域にこれから先、可能性の広がる話だと思うので、町としても一生懸命取組を進めていきたい。

## 国保料引き上げ だまし討ちだ

**質問** 令和4年度の国民健康保険料は、保険料率を据え置く予定だった。しかし、それが途中でくつがえった。早い段階で分かっていたら、議会で問題にできた。

**町民課長** 設楽町国民健康保険運営協議会で、1年前倒しで料率を上げることとなった。結果、議会への十分な説明ができなかったことは、非常に反省している。

**質問** 国保加入者の多くは年金暮らしの高齢者や低所得層。しかも、保険料は社会保険料と比べて高い。負担は限界にきていることへの配慮はあるか。

**町民課長** 料率改定により直接家計に影響するので、一度に上げずに段階的に料率を上げることとした。

**質問** 「基金が無くなったら一般会計から繰入れる」と言ってきた。その考えはないか。

**町長** 今のところその考えはない。

## 学校給食調理場 一か所へ統合は無謀

**質問** 作り手の顔がわかり、温もりのある自校方式の給食は、食育、地産地消、災害時対応などの点で存続すべき。拙速に調理場の全町一本化は進めるべきではない。

**教育課長** 創意工夫により、センター化したとしても、課題に対応していける。

**教育長** 子どもへの安定供給を第一に考えている。2つにするか、1つにするか、これから結論を出す。

**質問** 調理員の人員不足は、給与・待遇面の見直しで解消できないか。

**教育長** 調理員だけ給与を上げるのは、制度上、難しい。



**田中 邦利 議員**



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

**QRで動画で見よう!**



**高森 陽一郎 議員**



**QRで動画で見よう!**

## 投票所削減とその対応について

**質問** 身近な投票所が廃止され、交通手段がなく、遠い投票所には行けないので棄権、自力投票の保障がないのは公民権の切り捨て、まさしく憲法違反ではないか。住民の投票行動を後押しする手だて、対策は如何か。

**総務課長** 人口減少、職員数の減少、災害時の対応を考慮して投票所の再編を行った。削減地区の住民のために、事前申し込みによる移動支援を実施した。直近の参議院選挙では利用可能性のある114名にダイレクトメールを送り8名の利用があった。できる限り権利を行使しやすいように自助、共助、公助を活用し持続可能な社会を構築したい。災害を見越した職員配置も踏まえたうえで選挙当日の移動支援を手厚く行いたい。

## 近い将来に起こりうる火山災害と連動した南海トラフ地震災害に対する備えについて

**質問** 3年後或いは数年後に起こりうる火山災害と南海トラフ地震災害について、山岡耕春教授から火山のない県の火山防災の講義を受けた。迫り来る震災は海底火山と連動して起こるのではと危惧される。小説「日本沈没」のような首都機能の沈み込みによる喪失、都市部の電源喪失等壊滅的な被害の中、町外の罹災者の受け入れを実施すべきだがどの様に対処すべきと考えるのか。

**総務課長** 受け入れのための仮設住宅や折り畳み住宅等のストックはない。受け入れは県を通じて行う。仮設住宅は、県が設置し、町が運営することになる。

## 高齢期の生活デザインができるまちづくりへ

**質問** 設楽町は高齢者世帯が全体の2/3を占める。高齢期に満足度の高い生活ができる行政サービスの充実を求め、町の考えを問う。

- ①「お悔やみ窓口」等の仕組みづくりを。
- ②高齢者自身の終活の学習機会の提供について。
- ③介護予防支援事業の現状にテコ入れできないか。

**町民課長** ①死亡届時に配布する各種手続一覧表をホームページにあげ、事前に入手可能にする。

②終活は大きな種々の事案を含んでいる。自分の財産の処分、土地や借金の関係等々、存命のうちに処理できるよう意識を高めるため関係機関と検討する。そういう共通認識で関係機関と話し合い、次年度以降予算化して取り組む。

③令和6年度より「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」として疾病予防と重症化予防に取り組むことを予定。

**町長** ロコモ対策も含め良い制度が沢山あるが、PRが不十分。住民の皆様に分かりやすいことが必要。計画を立てて行う。

**質問** 後期高齢者の「医療費2割負担法」(10月施行)の影響と対策は。

**町民課長** 230名に影響。3年間の配慮措置はあるが町独自の支援策はない。重病化予防に保健センターと密に連携を取りつつ対応する。



**金田 文子 議員**



① スマホで撮って  
② 議会動画へ

**QRで動画で見よう!**

## 冬季の雪氷対策について

**質問** 建設関連会社では、作業員の労働環境改善が進み、経験豊富な重機オペレーター不足も重なり、雪氷対策の対応に四苦八苦しているが、その対応策は。

**建設課長** 重機オペレーターや作業員不足で大変なことは承知している。今、町内業者と協議中である。

## 町有施設の利活用と見直しについて

**質問** 津具地区の集会場を兼ねた施設で、年間に利用回数が無い施設があり、その維持管理費は年間総額で約23万円になり、町が負担している。消防器具庫、街路灯や防犯灯などの電気代も町が負担している。

他区の集会場や消防器具庫の維持費は区が負担しているが、なぜ津具地区は町が負担しているのか。町民へのサービス平等の観点から、大きく逸脱していないか。合併から20年近くになる町民平等の費用負担にすべきと思うが。

**総合支所長** 現在進めている公共施設等総合管理計画の中で、他の集会施設と歩調を合わせて地区移譲等を関係区長さん等と調整中。

**町長** 共有施設については今、公共施設管理計画で令和8年までにその方向で進むと解釈している。街路灯・防犯灯は、過去に公共性があるものを見直して解決したと理解している。



**金田 敏行 議員**



**QRで  
動画で  
見よう!**

## ● 設楽ダム対策特別委員会の現地視察

9月14日(水)に開催された設楽ダム対策特別委員会では、国道473号で進められている月バイパスの工事現場と、県道和市清崎線の工事現場の視察を行い、工事の進捗状況など説明を聞きました。



●国道473号(月バイパス)工事現場 新設トンネル東栄町側入口付近



●県道和市清崎線(清崎地内)工事現場 塩津大橋・こぶし橋付近

### 12月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場  
議場

時間：午前9時から

12月 1日(木) 開会・一般質問・提案説明

12月 5日(月) 総務建設委員会

12月 8日(木) 文教厚生委員会

12月 9日(金) 設楽ダム対策特別委員会

12月16日(金) 委員長報告・討論・採決・閉会

(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から)(日程は変更になることもあります)

広報委員 委員長：七原剛 委員：原田直幸 村松純次 原田純子